

# ミュージズの夢 シンポジウム 2012

NPO 法人 ミューズの夢

〒980-0802 宮城県仙台市青葉区二日町 6-6-1007

## 助成事業の概要

『わが子が笑顔でいるために』と題し、2012年3月25日(日)エルソーラ仙台 大研修室にて開催。

これまでにミュージズの夢ではたくさんのお子さん、ご家族の皆さんと接し、音楽などの芸術から受ける様々な影響や、成長、精神的安定などを感じてきた。しかし、3.11のような経験を、障がいを持つ子どもとその家族、そしてその周りの人々(学校・地域等)がどのように寄り添い、関わりあうかを、震災から一年がたつ3月に今一度見つめ直す機会と考えた。

小児科医師である堺武男氏(石巻市出身)による講演『寄り添って寄り添われて』では、長年活動されている、難病の子どもネットワークの蔵王難病キャンプでのお話や、3.11の震災がもたらした子ども達への精神的余震についてお話頂いた。又、障がいを持つ子の母親である宝順子さんには実際の日ごろの様々な体験談、そして震災時のお話をして頂いた。参加者は55名。当日は託児所を設け、子育て中の方も参加した。

## 事業の成果

今回のシンポジウムでは障がいを持つ子どもの母親である宝さんと、その子どもと家族を支援する立場の堺先生という違う立場からみた、普段の生活で思う事から震災での体験談をお話していただき、震災下の障がい児をめぐる様々なことが多角的に知ることができたと思う。ミュージズの夢の

スタッフや会員も震災後、どのように子どもたちと接していけばいいのかと考えることもあったが、子どもに寄りそい、家族に寄りそい、共に歩む気持ちを忘れずにいる事が大事だと改めて思った。参加者からの感想を掲載します。

○お二人のお話がこの時期に拝聴できて良かったです。お話の中の「患者さん」「子ども」を人に置き換えれば本当に生き残った人たちがともに心を寄せ合える社会へ“成長”できるのではないかと思いました。

○震災で私自身も親戚や友達を失いました。悲しみばかりで前に進めない思いをもっていました。が、わが子や子どもたちが笑顔でいるために、堺先生が話していたきれいな心、美しい環境が作れるよう私ができることをすこしずつでもはじめていこうと思いました。

○宝さん、堺先生、ありがとうございました。心苦しいところもあったと思います。よく話していただけたなあと思います。ありがとうございました。私は、自閉症の6歳の男の子の母親です。正直、当時の詳細を思い出そうとするとなんだかボヤーっとしてはっきり思い出せなくなっています。必死だったのはまちがいないのですが。大阪に避難のため2ヶ月いましたが、あまりのギャップに私はとまどいましたが、子どもは楽しそうでした。あの関西のノリで笑顔取り戻しました。人の笑顔に助けられたと思っています。近所の人にもずっとかくしていましたが「地域」の大切さを知りました。思い出しました。

## ■ 今後の展開

---

継続的な実施を目指したい。参加者からもまた参加したいという声が多かった。

今回の開催にあたっては、宮城県小児科医会のご後援により、宮城県内の小児科へのチラシを配布をさせていただいた影響もあり、比較的年齢の低いお子さんたちのお母さん方の参加が多かったように思える。これからはより情報発信の拡大に努めていきたい。